



ちよだ猫まつり2025

2025年
特別号

ちよだ猫まつり 2025



特設ステージ「ちよだ猫まつり10周年おめでとう!チャリティライブ」
山田稔明さん、近藤研二さん、むぎ(猫)ちゃん



会場の千代田区役所前には
オープニングを待つ長蛇の列が



お楽しみいっぱいの
ニャンダフルマーケット

ありがとう! 10周年

ちよだニャンとなる会と東京都人と動物のきずな福祉協会が主催、千代田区が共催する「ちよだ猫まつり」が2025年2月15日(土)・16日(日)千代田区役所1階・4階で開催されました。来場者は2日間で15000人(主催者発表)。第1回のちよだ猫まつりが開催されたのは2016年。今年で10周年になります。

千代田区で「飼い主のいない猫」への取組が始まったのは25年前、2000年のことでした。当時は路上生活を送る猫が区内のいたるところで見られ、子猫も生まれていました。猫を可哀想に思う人と迷惑に思う人の双方から苦情が上がり、区議会全会一致で猫への取組が決定。区民・在勤者を

対象に事業の普及員(ボランティア)が募集され、地域環境と公衆衛生の向上、動物愛護の推進のため、行政とボランティアが連携協働する取組が始まったのでした。2011年には全国に先駆けて「猫の殺処分ゼロ」を実現。清掃事務所が取り扱う猫の路上死体「ロードキル」は、25年前には年間およそ350体だったのが、現在では10分の1以下に削減されています。

ちよだ猫まつりは、千代田区での取り組みと成果を伝えるとともに、みなさまに楽しんでいただきつつ小さな命について考えてもらえたら、という動物福祉・動物愛護を普及啓発するチャリティイベントなのです。

ちよだ猫まつり 2025



小池百合子都知事を来賓に迎え、
樋口高顕千代田区長、平慶翔都議会議員がテープカット

ちよだ猫まつり2025

特設ステージ

見る

聴く

猫の来日

町見野古墳群
(杯身：つきみ)出土



「光る猫(きみ)へ」～平安貴族と猫～
赤坂動物病院院長の
柴内晶子獣医師のお話



「能登半島豪雨の被災猫を家族に迎えて」
イラストレーター・絵本作家
坂崎千春さんのトーク



緊急報告「能登半島地震・奥能登豪雨
被災動物たちの現状」
石川県で活動する特定非営利活動法人
猫の避妊と去勢の会、
一般社団法人OVO他、ボランティア団体の
みなさまを迎えてのシンポジウム



「ドクター石田の熱血授業
『猫の健康寿命を伸ばす方法』」
赤坂動物病院の医療ディレクター・
石田卓夫獣医師



企業ブースを出展する日本ヒルズ・コルゲートが
海外の伴侶動物レスキュー団体を紹介しつつ
動物の食事についてミニセミナー

ちよだ猫まつり 2025

主催

共催

千代田区
ありがとう10周年



「クラシックコンサート」出演は、
ねいまりさん(ヴァイオリン)、
高山聖子さん(ハープ)

ちよだ猫まつり 2025

主催

共催

千代田区

ありがとう10周年



「千代田区の取組と成果」
特定非営利活動法人ちよだニャンと
なる会の
古川尚美代表理事による報告



「～持続可能な未来に向けて～
アースフレンドリーマルシェ」を
ブース展開する新潟動物ネットワーク
(NDN)で
歯科医師の岡田朋子代表のトーク
「～みんなつながる～ワンウェルフェア」

ありがとう! 10周年

買う

出会う

体験する

支援する



猫まつりには欠かせない「猫落語」
春風亭百栄師匠が高座をつとめます



公益財団法人日本小動物がんセンターの
小林哲也センター長・獣医師の講演
「ねこのがんを知る」。
愛猫の健康と医療について学びたい聴衆で
いっぱい



企業ブースを出展する「PEPPYのじゃんけん大会」。
ステージまわりは大盛り上がりになります



「小さな子猫と出会ったら」～新生猫の医療とケア～
たちかわ動物病院院長の太刀川史郎獣医師がお話。
子猫がかかりやすい感染症から
こまやかなケアのポイントまで



「獣医さんになりたい!」～こどもたちの職業体験～。
荻谷動物病院グループ常務取締役顧問・
白井活光獣医師による小学生対象のワークショップです。
子どもたちも白衣を着てのカルテ作成から
手術着への早や着替えへ、
保護者のみなさまもワクワクドキドキ♡



「災害救助犬がやってくる!」
NPO法人日本救助犬協会が
ボランティアブースを開き、
ステージでお話とデモンストレーション。
獣医師資格を持つ千代田区職員でもある隊員が
マイクでお話



「猫のための防災・減災対策」
一般社団法人東京都人と動物のきずな福祉協会の
香取章子代表理事がスライドを使ってお話。
香取は、阪神淡路大震災から
被災動物の取材・執筆を続けています

ちよだ猫まつり2025

ニャンダフルマーケット

見る

聴く



猫まつり実行委員会厳選の能登の美味。
買って食べて復興支援、
収益は能登の猫たちの保護活動に役立てられます



日本ヒルズ・コルゲートの企業ブース。
私たちのシェルターと
ホームの保護猫たちのために募金活動も



いつもは区民ホールとなっているスペースが
ニャンダフルマーケットに。
猫モチーフの雑貨などを買い求める人たちが今年也大混雑



公式ブースでは、
ちよだ猫まつり実行委員会
セレクトグッズも委託販売。
東京では出展されることのなかった
「長崎の猫雑貨」の
「曲がったことが大好き」の尾曲がり猫と
「ニャビエル」のキャラクターが大人気



1948年創業、世界のおいしいコーヒーを
焙煎する斎藤コーヒー店(神田)が
ちよだ猫まつりのためにコーヒー粉と
メーカーやポットも提供。
売上がすべて寄付になります。
樋口高頭区長もお買い上げ、
「うん、おいしい!」



丸の内に所在する
グローバルな金融機関、
J.P.モルガンの社員のみなさまが
企業のCSRとしてシェルターで
ボランティア活動に関わるよう
なってる2年。
猫まつりでもコーヒー販売の
ボランティア活動♪



BAN&MYUは、16年間生活を共にしてきた
かけがえのない2匹の愛猫の名前に由来するとか。
店主が心を込めて作り上げた焼き菓子を販売



魔女の手仕事のブースでは、お手製の作品いろいろ。
保護猫の譲渡と同様、大事にしてくださる人に
「あみねこ」さんをお金と引き換えに譲渡。
収益は、ちよだニャンとなる会にご寄付くださっています

ありがとう! 10周年

買う

出会う

体験する

支援する



会場に繰り広げられるのは
絵本作家・町田尚子さん『ネコツメのよる』の世界。
撮影スポットで
猫に頭をペロリとなめられているのは、
神田神保町の老舗「天婦羅はちまき」
3代目店主の青木昌宏さん



おしゃれなオッドアイの白猫
「アンジー」は、
SNSのフォロワー数11万人突破。
猫まつりの会場をスキップして、
一緒に写真撮影も



猫形のケースに入った完全ワイヤレスイヤホン
NEKOを製作する会社のブース。
猫好きにはたまらない



東京都人と動物のきずな福祉協会の
ブースでは、
坂崎千春さんがチャリティで
描き下ろしてくださった
ロゴマークのパッケージ、
斎藤コーヒー店のコーヒーで
オリジナルの1杯飲みコーヒーを販売



新宿区で活動する42825(よつやねこ)のブースでは、
チャリティグッズを販売しつつ猫活動について説明



新潟動物ネットワーク (NDN) セレクトの
アニマルウェルフェア&エシカルな食品のミニマルシェ



花とエンジェルの
「アトリエプレジール」を主宰する
青木恭子さんは、
ちよだ猫まつりのサポーターとしても
ご尽力くださっています。
猫柄の帯が素敵♡



NPO法人日本救助犬協会でボランティアとして活動する
宮間さん(左端)の本業は千代田区の職員(獣医師資格あり)。
愛犬(救助犬)たちを連れて猫まつりにやって来た♪

ちよだ猫まつり2025

ニャンダフルマーケット

見る

聴く



近隣区などのボランティア団体がチャリティグッズを販売しつつ普及啓発するブース也大盛況



創業明治元年、九段南の宝来屋の社長夫妻が販売する肉球まんじゅう、猫ねりきり、健康長寿祈願の猫どら焼きは、今年の猫まつりでも見事に完売!



石川雅己・前千代田区長と実行委員長ふたりのスリーショット。第1回ちよだ猫まつりから10周年まで見守ってくださっています



「乳がんで苦しむ猫をゼロにする」JVCOG(一般社団法人日本獣医がん臨床研究グループ)が主催する「キャットリボン運動」を普及するブース

こどもワークショップ

4階のこどもワークショップは、3歳から小学生が主役。保護者と一緒に、柴田恵美さんデザインの「ミニねこチャームをつくろう!」、絵本作家カワダクニコさんの「こねこねねこのねこピッツアをつくろう」のワークショップ、ぬりえ、絵本の読み聞かせなど、楽しいひと時を過ごしました。ミニねこチャームのおみやげも大好評!



ありがとう! 10周年

買う

出会う

体験する

支援する



ちよだ猫まつりが開催できるのも、
みなさまからのサポートがあればこそ!
協賛・後援等、関係各位をボードで掲示



会場の展示パネル
「千代田区における取組と成果」。
行政とボランティアが連携協働する
「飼い主のいない猫への去勢・不妊手術」
「保護・譲渡」「ペット問題への対応」
「保護猫ホーム運営」など、
2000年から始まる25年の歩みを伝えます



初日のオープニング前、
ボランティアたちが集まってミーティング。
「(事故も事件もなく)みなさまに
楽しんでいただけたよう、ガンバロー!」



ちよだ猫まつりの会場では、
絵本作家、町田尚子さんの
『ネコソメのよる』の世界が展開。
ボランティアのコスプレ、
猫の王子様もお出迎えとお見送り

次回
ちよだ猫まつり2026
開催決定!
2/14(土) 2/15(日)

お楽しみに!



保護猫譲渡会

東京都人と動物のきずな福祉協会が運営する
「東京シェルターシェアリング神田神保町」は、
保護猫たちが家族とのご縁が結ばれるまで過ごす施設。
毎月2回オープンシェルター保護猫譲渡会を開いています。
猫まつりの2日目には、こちらがサテライト会場となり、譲渡会を開催。
千代田区および都内で保護された猫たち、
あるいは能登からやって来た被災猫たちとの面会を希望して、
大勢の人たちが訪れました。



じっこういいんかいレポート

ちよだ猫まつりのねこ実行委員—メイちゃん、くるみちゃん、ルーちゃん、モモちゃん、あんずちゃん、ユニちゃんが報告します



漫画・鳥飼規世

ご支援のお願い

猫たちを保護して病気や怪我を治療し、譲渡先を見つける活動にはどうしてもお金がかかります。小さな命も見捨てない社会づくりにご支援を通じてぜひご参加ください!

特定非営利活動法人ちよだニャンとなる会を支援する

- 賛助会員 年会費 1口3,000円
 - 毎月のご寄付(マンスリーサポート) 500円から
 - 今回のみのご寄付 1回1,000円から
- ホームページからお申し込みいただければ、クレジットカードでのご寄付できます。

<https://www.chiyoda-nyan.org/support/>
こちらのQRコードからアクセスできます。



- ゆうちょ・銀行振込をご利用の場合
 - ゆうちょ銀行 【店番】138(イチサンハチ) (普通) 2197282
 - 三菱UFJ銀行 麹町支店 (普通口座) 0402742
- 口座名義は、いずれも

「特定非営利活動法人 ちよだニャンとなる会」
(トクビ)チヨダニヤントナルカイ です。

※ゆうちょ・銀行でお振込みくださった方は、メール
info@chiyoda-nyan.org まで、お名前、ご住所をご連絡ください。



2024年12月31日富士見で保護された高齢・衰弱の太郎ちゃんは保護猫ホーム神田神保町で暮らしています



2025年5月21日神田錦町で保護された子猫。車に轢かれたとみられ、腹壁ヘルニアと大腿骨折で入院、手術、加療中

一般社団法人東京都人と動物のきずな福祉協会を支援する

- 年会費 1口 5,000円
 - 毎月のご寄付(マンスリーサポート) 500円から
 - 今回のみのご寄付 1回1,000円から
- ホームページからお申し込みいただければ、クレジットカードでのご寄付できます。

<https://metha-welfare.com/support/>
こちらのQRコードからアクセスできます。



- ゆうちょ・銀行振込をご利用の場合
 - ゆうちょ銀行 【店番】138(イチサンハチ) (普通) 0412835
 - みずほ銀行 九段支店 (普通口座) 3223779
- 口座名義は、いずれも

「一般社団法人東京都人と動物のきずな福祉協会」
イッパンシャダンホウジントウキョウトヒトドブツノキズナ
フクシキョウカイ です。

※ゆうちょ・銀行でお振込みくださった方は、メール
methawelfare@gmail.com まで、お名前、ご住所をご連絡ください。



2024年3月環境省動物愛護管理室が石川県から引き取り東京まで搬送した能登半島地震被災猫たちの1頭、コマツちゃん。シェルターでの滞在期間が1年を超えた



東京都中央防波堤廃棄物埋立処分場で保護された30頭余りの未手術の猫たちの1頭。動物病院で隔離入院してさまざまな寄生虫を駆除し、シェルターに入所